

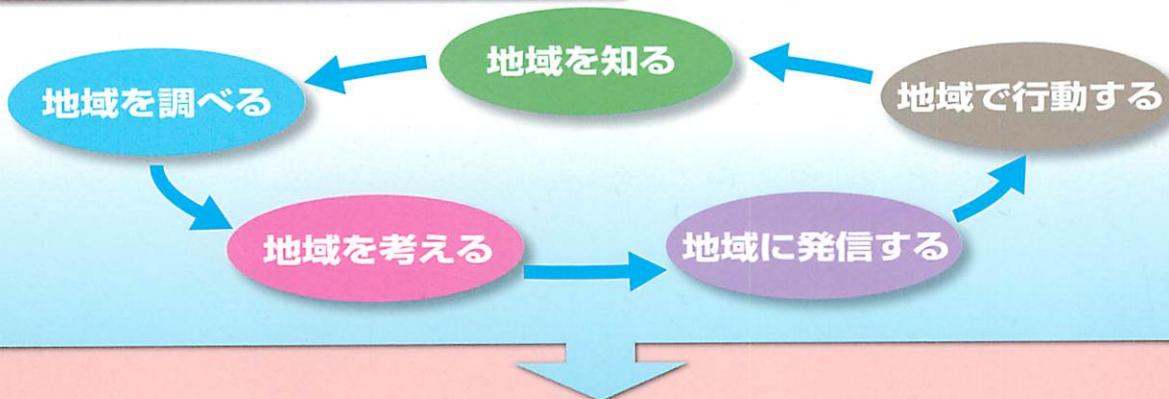
「社会の中で よりよく生きる力」を 育むことを、めざします。



地域共生科って、どんな教科？

地域共生科は、地域と深くかわり、働きかける「学習や体験活動」を重視した教科です。

地域共生科の学習ステップ及びサイクル 学年ごとに一つの単元を5つの学習ステップ及びサイクルで構成します。



育みたい力 社会の中でよりよく生き、よりよい社会をつくる能力の基礎

- 地域社会を構成する人々や事象に関心を持ち、その一員として地域社会の課題に主体的に取り組み貢献する能力
- 地域社会の課題を他者の考えや社会的価値観と照らし合わせて自ら考え、話し合い、判断する能力
- 地域社会に貢献し、共生するための基礎的・基本的な知識・技能

学習の社会的意義の実感

自己肯定感の高まり

現在の社会はグローバル化による価値観の多様化やテクノロジーの急速な進歩など激しく変化しています。とりわけ本校が所在する地域は、仙台市の副都心として近年急速に開発されたため、住民の流動性が激しく、様々な文化や価値観をもった人々が共生しています。

このような社会にあっては、自己と他者、あるいは自己と社会の間に考えや価値観の差異が生じたり、これまで遭遇したことのない様々な問題に直面したりすることが多くなります。

- これからの社会を生き抜くために必要となるのは、
- ① 社会では多様な価値観や考えをもっている人々が共生していることの理解

- ② 他者や社会の考えや価値観を受け入れる力
- ③ 他者や社会に対して能動的に働きかける力
- ④ 実社会で生きる思考力、判断力、表現力

このような力は、これまで各個人がその成長段階で直接社会とかわることをとおして、自ずと身に付けていくものと考えられていました。しかし、子どもたちの社会とかわる機会は減少しています。このままでは、将来、子ども一人一人が、社会的に自立した人間になりえるのが危惧されます。

そこで、本校においては、前記の①～④を強く意識した力を「社会の中で、よりよく生きる力」とし、他者との関係性を重視し、現実社会を志向した教育の実現をめざします。

地域の教育力

地域の様々な機関や人々の協力など、地域の教育力を積極的に活用します。

学校支援地域本部 地域社会と 学校の 学びの循環

学校が一方的に地域の協力を仰ぐだけでなく、子どもが学校で学んだことを地域社会に還元します。



地域社会づくりの体験活動

地域貢献、地域社会の活性化につなげます。

地域社会 ひと・もの・こと

地域の 活性化

